

## 徳島県の水辺環境におけるクモ相に関する予備調査

鈴木佑弥<sup>1</sup>

[Yuya Suzuki<sup>1</sup>: A preliminary survey of the riparian spider fauna in Tokushima Prefecture, Japan.]

**Abstract** : A preliminary survey on the riparian spider fauna was conducted in Yoshino-gawa, Katsuura-gawa, Sonose-gawa and Kaifu-gawa River basins in Tokushima Prefecture between April and October 2023. The results revealed 74 species belonging to 20 families. Among them 16 species are newly recorded from Tokushima Prefecture, and three species are new to the fauna of the Shikoku Island. The majority of the newly recorded species are cursorial (e.g., Lycosidae, Gnaphosidae, Salticidae) and small-sized (e.g., Theridiosomatidae, Mysmenidae), includes habitat specialists that favor specific riparian microhabitats. Some of these habitat specialists may be affected by alternations on riparian environments due to human activity.

キーワード：塩性湿地，海岸，河川敷，草原，ヨシ原，レッドリスト

### はじめに

徳島県のクモ相を概観することのできる資料のうち古いものとしては真鍋・坂東（1974, 1975, 1979）が挙げられ、一連の研究によって県内から32科230種が報告されている。その後、阿波学会総合学術調査等により県内各地のクモ相が綿密に調査され、それらの成果は仲條（2006）によって県目録として整理、公表された。目録公表後も調査報告が相次ぎ（坂東, 2008, 2010a, b, 2011a, b, 2012, 2013, 2015, 2017, 2019, 2021；馬場・藤本, 2018；仲條, 2008；仲條・中西, 2008；中西・仲條, 2008a, b；Nishikawa, 2009；入江, 2016；平松, 2021；清水ら, 2011；新海・谷川, 2007；2009a, b, 2013；芹田, 2023）、2023年11月の時点で45科442種（+3亜種）のクモが県内から記録されている。

県内にて実施されたクモ相の調査の多くは、主に森林や溪流、洞窟などの暗く閉鎖的な環境を対象としている。とりわけ洞窟のクモ相に関しては、木内・吉田（1970, 1971）や坂東（1987, 1988）などの詳細な調査報告がある。その一方、河口や河川敷の草地、氾濫原湿地などの開放的な水辺環境を中心に調査が行われた事例は少ない。徳島県内には吉野川、那賀川、海部川などの一級河川が流れ、その流域にはヨシ原をはじめとする湿地や草地が発達する。クモ類の中にはこれらの水辺環境に特有な種（湿地性種）が知られていることから、徳島県のクモ相の全容を解明するうえで、水辺環境における網羅的な調査は必要不可欠である。

そこで筆者は、県内の水辺環境におけるクモ相を明らか

にするために、2023年4月から10月にかけて吉野川、勝浦川、園瀬川および海部川の流域における計6地点（Fig. 1）で予備的な調査を実施した。調査日は2023年4月11日、5月3日、5月18日、6月14日、6月25日、6月28日、7月1日、10月13日、10月15日の計9日である。クモ類は、主に見つけ採り、ビーティング、シフティングによって採集し、70%エタノールで固定した。種同定は主に小野（2009）に従った。リスト作成においては、雌成体をF、雄成体をM、幼体をyと表記し、幼体のみが採集された種については記録から除外した。学名、和名および掲載順は谷川（2023）に従い、既存の目録および文献において徳島県および四国から記録のない種については、和名の後に「徳島県初記録」または「四国初記録」と記した。また、徳島県版レッドデータブック（徳島県, 2001）ならびに徳島県版レッドリスト（改訂版）（徳島県, 2013）に掲載されている種については和名の後に選定カテゴリを示した。以降では、レッドデータブックをRDB、レッドリストをRLと略記する。

本研究で用いた標本はすべて徳島県立博物館（Tokushima Prefectural Museum: TKPM）に収蔵されている。

### 採集方法の詳細

Lk：見つけ採り（ルッキング）。目視による採集。草本上や地表、網上のクモに加え、草本の根際などに潜むクモも本手法によって採集した。

Bt：草本のビーティング。草本の下面に受け皿（トレイ）を差し込み、上から草本を叩くことで、落下してくるクモを採集した。

2023年11月15日受付，12月20日受理。

<sup>1</sup> 徳島県立博物館，〒770-8070 徳島市八万町文化の森総合公園。Tokushima Prefectural Museum, Bunka-no-Mori Park, Hachiman-chô, Tokushima 770-8070, Japan.

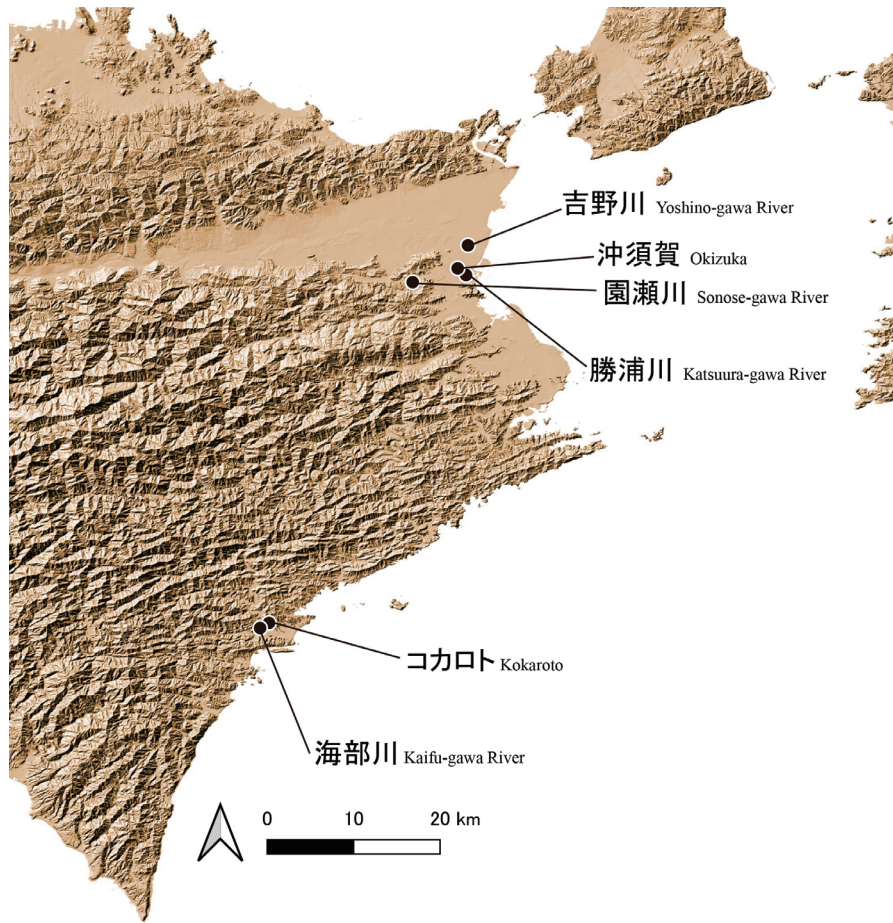


Fig. 1. Map showing localities where spiders were collected in this survey. The map was generated with QGIS ver. 3.22.4 (QGIS Development Team).

Sf: リターのシフティング。地表に堆積したリターを篩にかけることでクモを採集した。

#### 採集地情報

##### 吉野川水系 Yoshino-gawa River system

吉野川 (Figs. 1, 2A, B): 徳島県徳島市住吉, 吉野川運動広場のヨシ原および草地。海拔 1.0 m。

Yoshino-gawa River, Sumiyoshi, Tokushima-shi, Tokushima. Reed bed and grasslands at the mouth of the river. 1.0 m a. s. l.

##### 園瀬川水系 Sonose-gawa River system

沖須賀: 徳島県徳島市八万町沖須賀, 園瀬川河口より約 2.5 km に位置するヨシ原。海拔 0–3.0 m。

Okizuka (Sonose-gawa River), Hachiman-chô, Tokushima-shi, Tokushima. A small reed bed 2.5 km away from the mouth of the river. 0–3.0 m a. s. l.

園瀬川 (Figs. 1, 2D): 徳島県徳島市上八万町上中筋, 園瀬川河口より約 8.4 km 上流に位置する河川敷。海拔 6.0–9.0 m a. s. l.

Sonose-gawa River, Kaminakasuji, Kamihachiman-chô,

Tokushima-shi, Tokushima. River bed 8.4 km away from the river mouth. 6.0–9.0 m.

##### 勝浦川水系 Katsuura-gawa River system

勝浦川 (Figs. 1, 2C): 徳島県徳島市論田町和太開外, 勝浦川運動広場のヨシ原および草原。海拔 – 0.1–1.0 m。

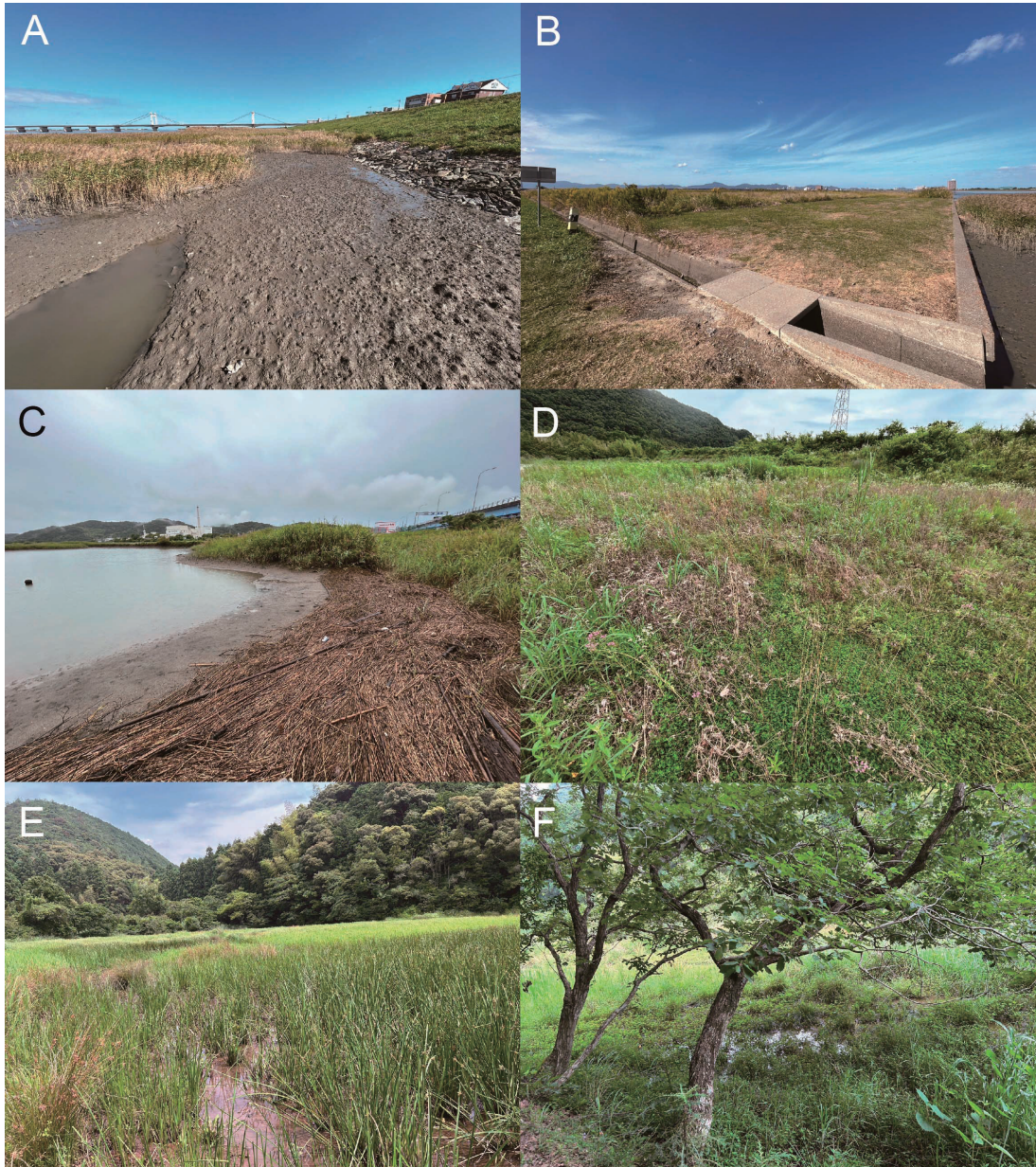
Katsuura-gawa River, Wadabarisoto, Ronden-chô, Tokushima-shi, Tokushima. Reed bed and grasslands at the mouth of the river. – 0.1–1.0 m a. s. l.

##### 海部川水系 Kaifugawa-River system

海部川: 徳島県海部郡海陽町吉野十王堂付近, 海部川河口より約 4.0 km に位置する河川敷および草原。海拔 7.0–14.0 m。

Kaifu-gawa River, Yoshinojuoudou, Kaiyô-chô, Kaifu-gun, Tokushima. River bed and grasslands 4.0 km away from the river mouth. 7.0–14.0 m a. s. l.

コカロト (Figs. 1, 2E, F): 徳島県海部郡海陽町吉野 (コカロト), 海部川河口より約 3.2 km の山縁に位置する湿地。イグサやホタルイ等のイネ科草本が繁茂している。海拔 7.0 m。



Figures 2. Landscape of the study sites. A: reed bed at the mouth of Yoshino-gawa River; B: grassland on the river bed at the mouth of Yoshino-gawa River; C: reed bed at the mouth of Katsuura-gawa River; D: grassland at the river bed of Sonose-gawa River; E-F: wetland alongside Kaifu-gawa River.

Kokaroto, Yoshino, Kaiyô-chô, Kaifu-gun, Tokushima. A wetland covered with grasses such as *Juncus decipiens* and *Schoenoplectiella hotarui*. 7.0 m a. s. l.

## 結果

本調査により、徳島県内の水辺環境6地点から20科74種のクモ類が採集された (Table 1)。確認された種数が多い科としては、ハエトリグモ科 (17.6 %, 13種)、ヒメグモ科、コガネグモ科、コモリグモ科 (いずれも 12.2 %, 9

種)の4科が挙げられる。また、徳島県初記録種16種 (トガリクサチヒメグモ、タテスジヤリグモ、アメイロカラカラグモ、ムナアカナルコグモ、ヤマトコツブグモ、ヨツボシショウジョウグモ、ムネグロコガネグモダマシ、カコウコモリグモ、キシベコモリグモ、コフクログモ、クロケムリグモ、ヤマトフトバワシグモ、ヨシシャコグモ、マツモトハエトリ、マミクロハエトリ、チクニハエトリ)、四国初記録種3種 (シッチコモリグモ、ヒメヨリメケムリグモ、クマドリハエトリ)、県版RL掲載種2種 (ハンゲツオスナキグモ、シマササグモ)が確認された。

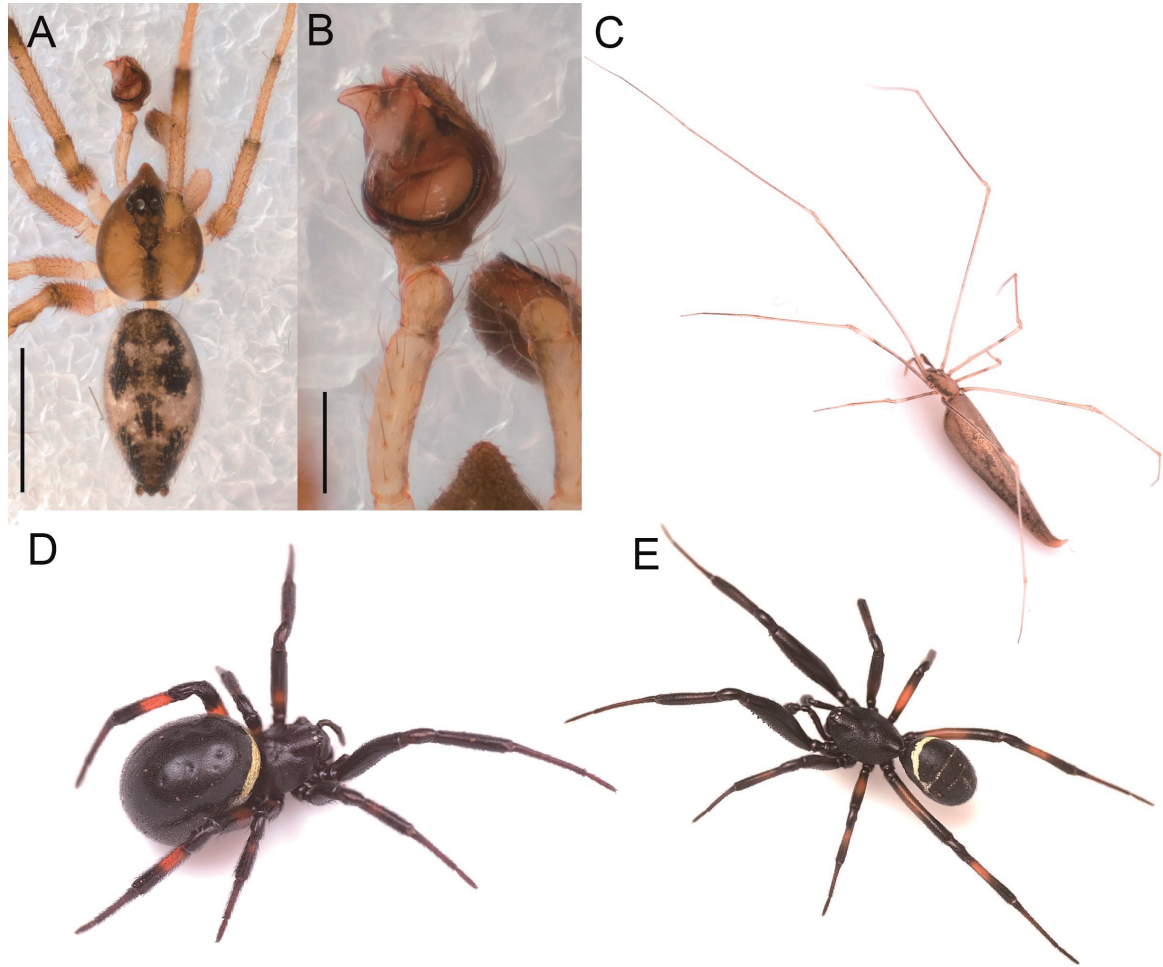


Figure 3. A: male habitus of *Coscinida japonica*, dorsal view, B: male palp of *C. japonica*, ventral view, C: female habitus of *Rhomphaea hyrcana*, D: female habitus of *Steatoda cingulata*, E: male habitus of *S. cingulata*. Scale bars: 1.0 mm (A), 0.2 mm (B).

目録

Araneae クモ目

Oonopidae タマゴグモ科

1. *Opopaea syarakui* (Komatsu, 1967) シャラクダニグモ  
1F, 1-VII-2023, Sf, 勝浦川; 1F, 15-X-2023, Sf, 勝浦川

Theridiidae ヒメグモ科

2. *Chrosiothes sudabides* (Bösenberg and Strand, 1906) ヨツコブヒメグモ  
1F, 18-V-2023, Bt, 吉野川
3. *Coleosoma octomaculata* (Bösenberg and Strand, 1906) ヤホシヒメグモ  
1F, 3-VII-2023, Bt, 沖須賀
4. *Coscinida japonica* Yoshida, 1994 トガリクサチヒメグモ (徳島県初記録)  
Figs. 3A, B  
1M, 18-V-2023, Bt, 吉野川; 2F2M6y, 13-X-2023, Bt, 吉野川

備考：本州中南部から南西諸島にかけて分布する南方系のクモである。四国では香川県および高知県から記録されている（馬場ら, 2018; 芹田, 2018b, 2019, 2021）。

5. *Keijiella oculiprominens* (S. Saito, 1939) キヨヒメグモ  
3F, 14-VI-2023, Lk, 海部川
6. *Paidiscura subpallens* (Bösenberg and Strand, 1906) ハイイロヒメグモ

1F, 11-IV-2023, Lk, 勝浦川

7. *Rhomphaea hyrcana* (Logunov and Marusik, 1990) タテスジャリグモ (徳島県初記録)

Fig. 3C

1F, 3-V-2023, Lk, 吉野川; 1F, 1-VII-2023, Lk, 勝浦川

備考：主に本州日本海側～四国, 南西諸島にかけて分布する南方系種である。四国においては香川県および高知県から記録されている（芹田, 2018, 2021; 新海・谷川, 2016）。

8. *Steatoda cingulata* (Thorell, 1890) ハンゲツオスナキグモ (県版 RL : DD)

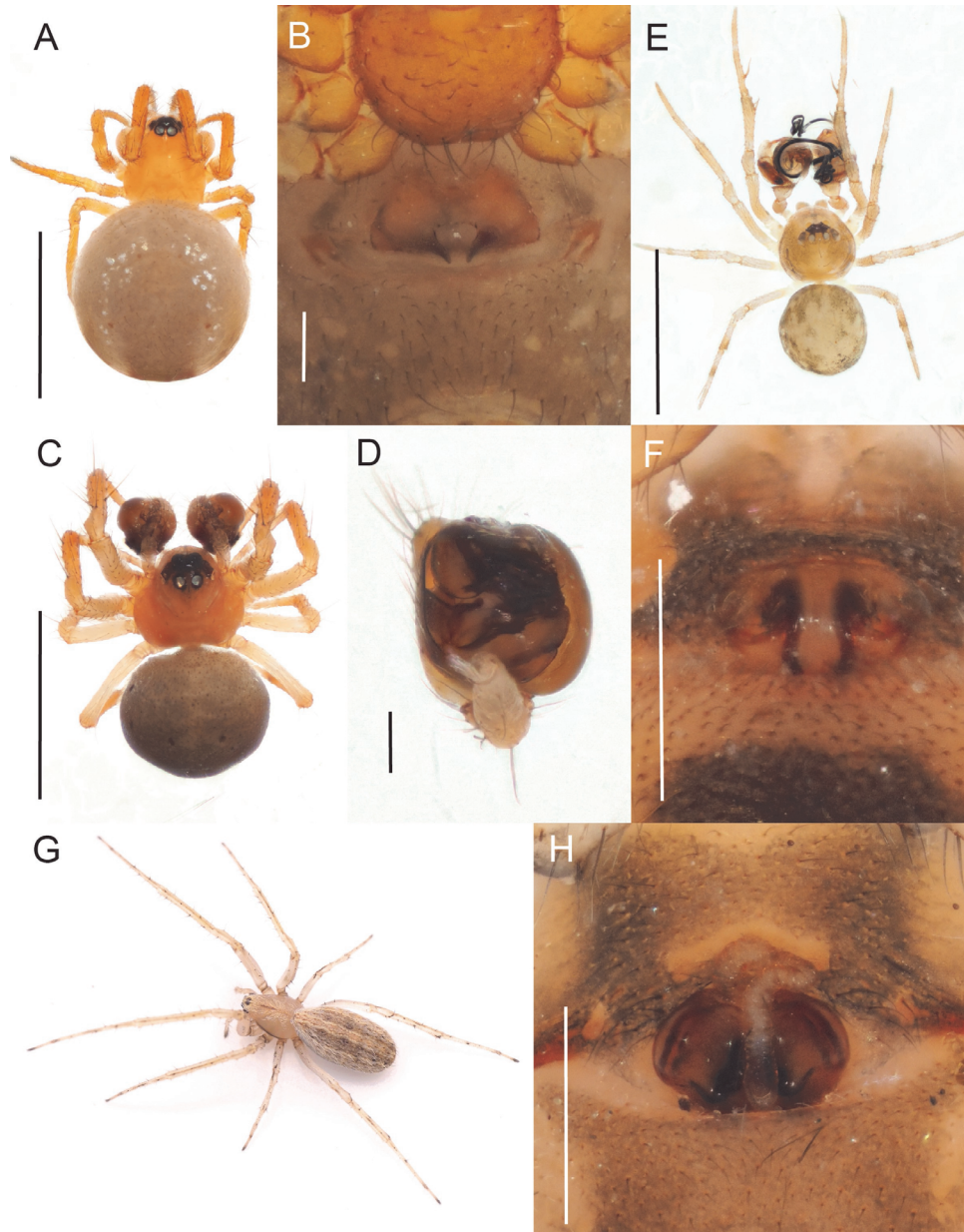


Figure 4. A: female habitus of *Theridiosoma fulvum*, dorsal view, B: epigyne of *T. fulvum*, ventral view, C: male habitus of *Wendilgarda ruficeps*, dorsal view, D: male palp of *W. ruficeps*, ventral view, E: male habitus of *Microdipoena ogatai*, dorsal view, F: epigyne of *Hypsosinga pygmaea*, ventral view, G: female habitus of *Larinia onoi*, H: epigyne of *L. onoi*, ventral view. Scale bars: 1.0 mm (A, C, E), 0.5 mm (F, H), 0.1 mm (B, D).

Figs. 3D, E

1F, 18-V-2023, Lk, 吉野川; 1F, 14-VI-2023, Lk, コカロト; 1M, 13-X-2023, Lk, 吉野川

備考: 本種は徳島県版 RL においては DD (留意種) に選定されている (徳島県, 2013). 全国的に分布するが, 県内の記録は多くない (徳島県, 2001; 坂東, 2008, 2011; 中西・仲條, 2008).

9. *Stemmops nipponicus* Yaginuma, 1969 スネグロオチバヒメグモ

1F, 18-V-2023, Sf, 吉野川

10. *Yunohamella* sp. ユノハマヒメグモ属の一種

2F1M, 3-V-2023, Bt, 吉野川; 2F, 18-V-2023, 吉野川; 1F, 13-X-2023, Bt, 吉野川

Theridiosomatidae カラカラグモ科

11. *Theridiosoma fluvum* Suzuki, Serita and Hiramatsu, 2020 アメイロカラカラグモ (徳島県初記録)

Figs. 4A, B

2F, 14-VI-2023, Lk, コカロト

備考: 本種は北海道, 本州, 四国に分布し, 四国におい

ては高知県から記録されている（新海ら，2022）。

**12. *Wendilgarda ruficeps* Suzuki, 2019 ムナアカナルコグモ (徳島県初記録)**

Fig. 4C, D

1M, 28-VI-2023, Lk, コカロト

備考：本種は本州～九州および西表島に分布し，四国においては高知県から記録されている（新海ら，2022；芹田，2021）。

**Mysmenidae コツブグモ科**

**13. *Microdipoena ogatai* (Ono, 2007) ヤマトコツブグモ (徳島県初記録)**

Fig. 4E

1M, 14-VI-2023, Lk, コカロト

備考：本種は本州から九州にかけて分布し，四国においては高知県から記録されている（新海ら，2022；芹田，2018b，2021）。

**Araneidae コガネグモ科**

**14. *Argiope amoena* L. Koch, 1878 コガネグモ**

1F, 25-VI-2023, Lk, 園瀬川；1F, 1-VII-2023, Lk, 勝浦川

**15. *Argiope bruennichi* (Scopoli, 1772) ナガコガネグモ**

1F, 15-X-2023, Lk, 勝浦川

**16. *Cyclosa octotuberculata* Karsch, 1879 ゴミグモ**

1F, 18-V-2023, Lk, 吉野川

**17. *Hypsosinga pygmaea* (Sundevall, 1831) ヨツボシシヨウジョウグモ (徳島県初記録)**

Fig. 4F

1F1y, 28-VI-2023, Lk, コカロト

備考：四国においては香川県（馬場・藤本，2019；馬場ら，2017，2018），愛媛県（鶴崎ら，2011；馬場・田中，2020）；高知県（中平，1961，1994；芹田，2019b）から記録されている。

**18. *Larinia argiopiformis* Bösenberg and Strand, 1906 コガネグモダマシ**

2F, 18-V-2023, Bt, 吉野川；1F, 25-VI-2023, Lk, 園瀬川；1F, 1-VII-2023, Bt, 勝浦川

**19. *Larinia onoi* Tanikawa, 1989 ムネグロコガネグモダマシ (徳島県初記録)**

Figs. 4G, H

1F, 3-V-2023, Bt, 吉野川；3F, 18-V-2023, Bt, 吉野川；6F, 13-X-2023, Bt, 吉野川；11F, 15-X-2023, Bt, 勝浦川

備考：主に本州中南部から南西諸島にかけて記録されている南方系種である。四国においては香川県および高知県から記録されている（馬場・藤本，2019；芹田，2019b，

2021）。草地の低位置に造網する。

**20. *Neoscona adianta* (Walckenaer, 1802) ドヨウオニグモ**  
2F, 14-VI-2023, Lk, コカロト；2F, 25-VI-2023, Lk, 園瀬川；1F, 1-VII-2023, Lk, 勝浦川

**21. *Neoscona scylloides* (Bösenberg and Strand, 1906) サツマノミダマシ**

1M, 28-VI-2023, Lk, コカロト

**22. *Trichonephila clavata* (L. Koch, 1878) ジョロウグモ**

1F1M, 15-X-2023, Lk, 勝浦川

**Tetragnathidae アシナガグモ科**

**23. *Leucauge blanda* (L. Koch, 1878) チュウガタシロカネグモ**

1M, 28-VI-2023, Lk, コカロト

**24. *Leucauge celebesiana* (Walckenaer, 1842) オオシロカネグモ**

1F, 28-VI-2023, Lk, コカロト

**25. *Leucauge subblanda* Bösenberg and Strand, 1906 コシロカネグモ**

2F, 28-VI-2023, Lk, コカロト

**26. *Tetragnatha keyserlingi* Simon, 1890 ヤサガタアシナガグモ**

1M, 28-VI-2023, Lk, コカロト

**27. *Tetragnatha nitens* (Audouin, 1826) ヒカリアシナガグモ**

4F, 1-VII-2023, Lk, 勝浦川

**28. *Tetragnatha praedonia* L. Koch, 1878 アシナガグモ**

1F1M, 25-VI-2023, Lk, 園瀬川；1M, 3-VII-2023, Lk, 沖須賀

**Linyphiidae サラグモ科**

**29. *Diplocephaloides saganus* (Bösenberg and Strand, 1906) ハラジロムナキグモ**

1F, 11-IV-2023, Bt, 勝浦川；5F, 18-V-2023, Bt, 吉野川

**30. *Nematogmus sanguinolentus* (Walckenaer, 1842) チビアカサラグモ**

1M, 1-VII-2023, Bt, 勝浦川

**31. *Ummeliata insecticeps* (Bösenberg and Strand, 1906) セスジアカムネグモ**

1F, 14-VI-2023, Sf, コカロト；1F1M, 28-VI-2023, Sf, コカロト

**Agelenidae タナグモ科**

**32. *Allagelena opulenta* (L. Koch, 1878) コクサグモ**

1F, 15-X-2023, Lk, 勝浦川

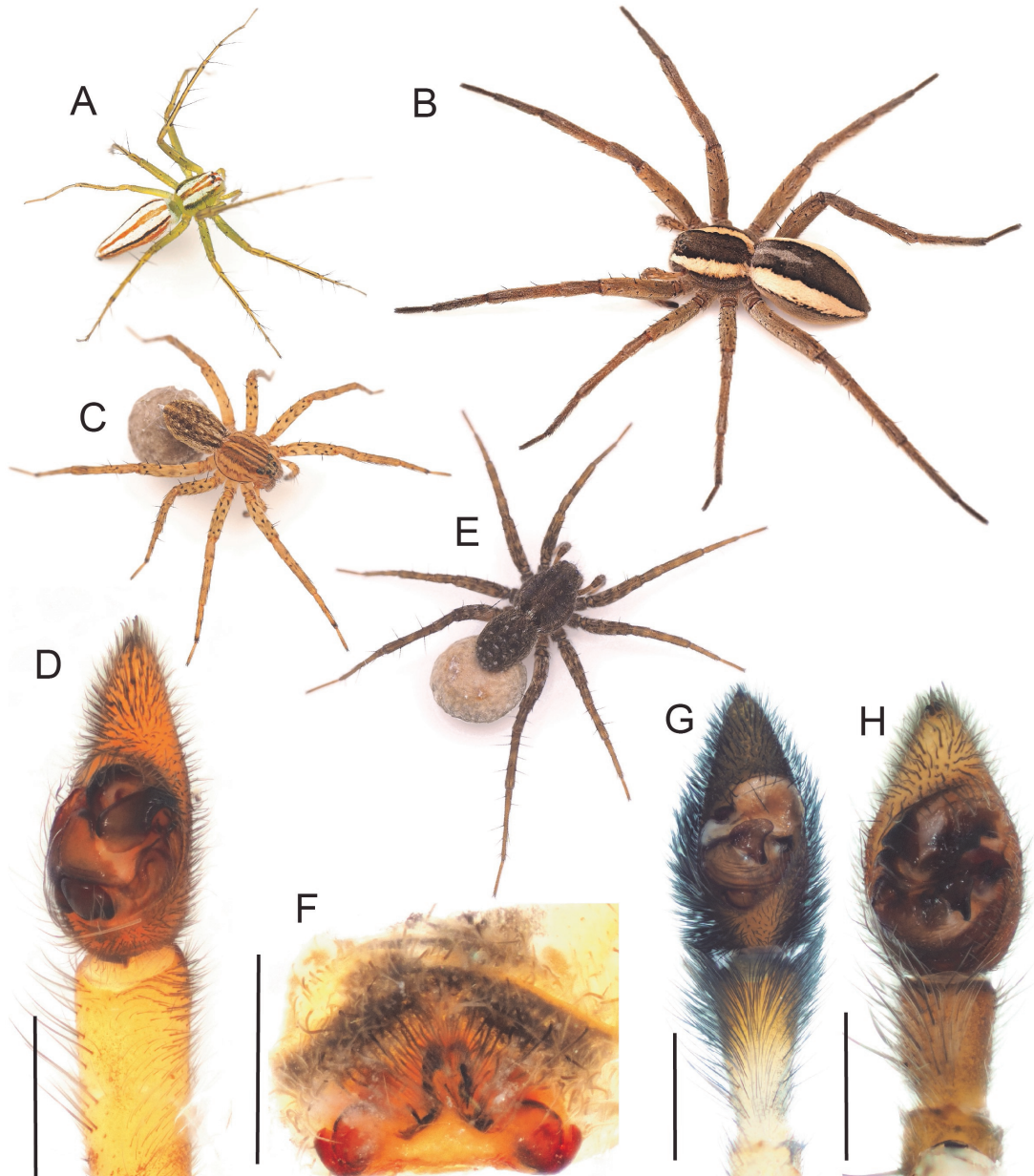


Figure 5. A: female habitus of *Oxyopes macilentus*, B: female habitus of *Dolomedes angustivirgatus*, C: female habitus of *Hygrolycosa umidicola*, D: male palp of *H. umidicola*, ventral view, E: female habitus of *Pardosa nojimai*, F: epigyne of *P. nojimai*, ventral view, G: male palp of *P. nojimai*, ventral view, H: male palp of *Pardosa yaginumai*, ventral view. Scale bars: 0.5 mm.

**Dictynidae ハゲモ科**

33. *Dictyna felis* Bösenberg and Strand, 1906 ネコハゲモ  
1F, 15-X-2023, Lk, 勝浦川

**Ctenidae シボグモ科**

34. *Anahita fauna* Karsch, 1879 シボグモ  
1F1M, 25-VI-2023, Lk, 園瀬川

**Oxyopidae ササグモ科**

35. *Oxyopes macilentus* L. Koch, 1878 シマササグモ (徳島  
県版 RL : DD)

**Fig. 5A**

1F2M, 28-VI-2023, Lk, コカロト

備考：本種は県内における採集記録が少なく，県版 RL  
では留意種 (DD) に選定されている (徳島県, 2013).

**36. *Oxyopes sertatus* L. Koch, 1878 ササグモ**

1F, 14-VI-2023, Lk, コカロト ; 1F, 25-VI-2023, Lk,  
園瀬川

**Pisauridae キシダグモ科**

37. *Dolomedes angustivirgatus* Kishida, 1936 スジボソハシ  
リグモ

Figs. 5B

2F2M, 28-VI-2023, Lk, コカロト

備考：本州から九州にかけて広く分布する大型の湿地性ハシリゲモである。

県内においては、2005年9月に阿南市伊島で採集された1雌の記録があるのみであり (Tanikawa and Miyashita, 2008), 本調査により徳島県本土部から初めて記録された。

**38. *Dolomedes saganus* Bösenberg and Strand, 1906 スジブトハシリゲモ**

1F, 14-VI-2023, Lk, コカロト; 4F, 28-VI-2023, Lk, コカロト

**Lycosidae コモリゲモ科**

**39. *Hygrolycosa umidicola* Tanaka, 1978 シッチコモリゲモ (四国初記録)**

Figs. 5C, D

1M, 14-VI-2023, Lk, コカロト; 1F, 28-VI-2023, Lk, コカロト

備考：本種は北海道～本州にかけて分布する湿地性コモリゲモの一種であり、西日本における記録は少ない (林ら, 2014; 貝發, 2023)。これまでに四国からは未記録だった (新海ら, 2022)。

**40. *Lycosa coelestis* L. Koch, 1878 ハラクロコモリゲモ**

4F, 25-VI-2023, Lk, 園瀬川; 1F, 13-X-2023, Lk, 吉野川; 1M, 15-X-2023, Sf, 勝浦川

**41. *Pardosa agraria* Tanaka, 1985 イナダハリゲコモリゲモ**

4F1M, 18-V-2023, Sf, 吉野川; 2F, 1-VII-2023, Sf, 勝浦川

**42. *Pardosa astrigera* L. Koch, 1878 ウツキコモリゲモ**

1F, 11-IV-2023, Lk, 勝浦川; 1F, 3-V-2023, Lk, 吉野川; 1M, 25-V-2023, Lk, 園瀬川; 1M, 1-VII-2023, Lk, 勝浦川

**43. *Pardosa nojimai* Tanaka, 1998 カコウコモリゲモ (徳島県初記録)**

Figs. 5E, F, G

1F2M, 11-IV-2023, Lk, 勝浦川; 3F5M, 3-V-2023, Lk, 吉野川; 3F1M, 18-V-2023, Lk, 吉野川; 1F4M, 1-VII-2023, Lk, 勝浦川

備考：本種は本州から九州にかけて分布しており、四国においては愛媛県および高知県から記録されている (馬場ら, 2018; 芹田, 2019b)。吉野川および勝浦川のヨシ原に生息するほか、園瀬川河口域のヨシ原でも幼体を確認している。

**44. *Pardosa yaginumai* Tanaka, 1977 キシベコモリゲモ (徳島県初記録)**

Fig. 5H

1M, 14-VI-2023, Lk, 海部川

備考：本種は海岸や河川敷に生息するクモである。四国においては徳島県以外の3県から記録があった (新海ら, 2022)。外見、生息環境共に次種イサゴコモリゲモ *P. isago* によく似る。

**45. *Pardosa isago* Tanaka, 1977 イサゴコモリゲモ**

1F, 25-VI-2023, Lk, 園瀬川

**46. *Pirata subpiraticus* (Bösenberg and Strand, 1906) キバラコモリゲモ**

1F, 14-VI-2023, Lk, コカロト; 3F1M, 28-VI-2023, Lk, コカロト

**47. *Trochosa aquatica* Tanaka, 1985 ナガズキンコモリゲモ**

3F1M, 18-V-2023, Sf, 吉野川; 1F, 1-VII-2023, Sf, 勝浦川; 3F3M, 13-X-2023, Sf, 吉野川

**Thomisidae カニゲモ科**

**48. *Xysticus hedini* Schenkel, 1936 クロボシカニゲモ**

1F, 28-VI-2023, Sf, コカロト

**49. *Runcinia insecta* (L. Koch, 1875) シロスジゲモ**

1F, 1-VII-2023, Sf, 勝浦川

**Clubionidae フクロゲモ科**

**50. *Clubiona diversa* O. P.-Cambridge, 1862 ミチノクフクロゲモ**

1M, 3-V-2023, Bt, 吉野川; 1F3M, 18-V-2023, Bt, 吉野川; 3F, 1-VII-2023, Bt, 勝浦川; 4F7M, 13-X-2023, Bt, 吉野川; 4F5M, 15-X-2023, Bt, 勝浦川

備考：吉野川および勝浦川河口域の草地において特に個体数が多い種である。

**51. *Clubiona kurilensis* Bösenberg and Strand, 1906 ヒメフクロゲモ**

2F, 18-V-2023, Bt, 吉野川

**52. *Clubiona corrugata* Bösenberg and Strand, 1906 コフクロゲモ (徳島県初記録)**

Figs. 6A, B, C

2M, 28-VI-2023, Bt, コカロト; 1F, 1-VII-2023, Bt, 勝浦川; 1M, 3-VII-2023, Bt, 沖須賀; 1M, 15-X-2023, Bt, 勝浦川

備考：四国においては、香川県 (馬場ら, 2018) および高知県 (芹田, 2018b, 2019) から記録されている。

**53. *Clubiona japonicola* Bösenberg and Strand, 1906 ハマキフクロゲモ**

1F, 1-VII-2023, Lk, 勝浦川



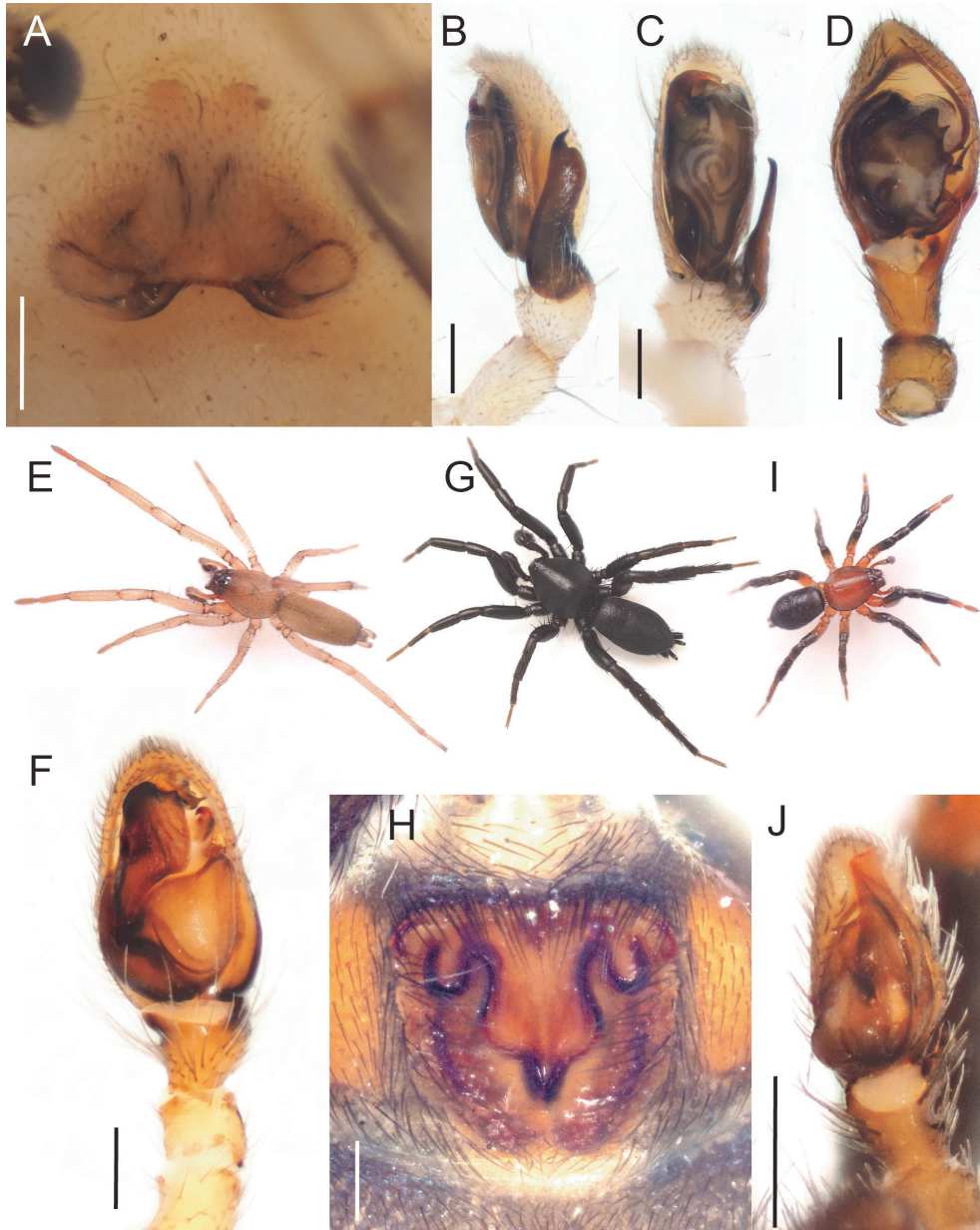


Figure 6. A: epigyne of *Clubiona corrugata*, ventral view, B: male palp of *C. corrugata*, retrolateral view, C: male palp of *C. corrugata*, ventral view, D: male palp of *Drassyllus yaginumai*, ventral view, E: male habitus of *Haplodrassus kanenoi*, F: male palp of *H. kanenoi*, ventral view, G: male habitus of *Zelotes tortuosus*, H: epigyne of *Z. tortuosus*, ventral view, I: male habitus of *Odontodrassus hondoensis*, J: male palp of *O. hondoensis*, ventral view. Scale bars: 0.2 mm.

**Trachelidae ネコグモ科**

**54. *Orthobula crucifera* Bösenberg and Strand, 1906 オトヒメグモ**

1F, 3-V-2023, Sf, 吉野川; 2F, 18-V-2023, Sf, 吉野川;  
1F, 1-VII-2023, Sf, 勝浦川; 1F, 15-X-2023, Sf, 勝浦川

**Gnaphosidae ワシグモ科**

**55. *Drassyllus yaginumai* Kamura, 1987 ヒメヨリメケムリグモ (四国初記録)**

Figs. 6D

1M, 18-V-2023, Sf, 吉野川

備考：本種は北海道から九州にかけて広く分布するが、四国においては未記録だった。河川敷や湿地、耕作放棄地などの開けた環境に生息する。

**56. *Haplodrassus kanenoi* Kamura, 1995 カズサハイタカグモ**  
Figs. 6E, F

1M, 18-V-2023, Sf, 吉野川

備考：本種は千葉県木更津市の小櫃川河口付近で採集された標本に基づき記載された種であり (Kamura, 1995), これまでに千葉県, 茨城県, 千葉県, 埼玉県, 東京都, 徳

島県から記録されているが、記録は多くない。徳島県内における記録は2002年7月18日に園瀬川河川敷で採集された雌1個体のみ(Kamura, 2006)であり、本記録は県2例目の記録となる。本種は河川敷や遊水地などの湿った草地や湿地から採集されている。

**57. *Odontodrassus hondoensis* (S. Saito, 1939) ヤマトフトバワシゲモ (徳島県初記録)**

Figs. 6I, J

1M, 18-V-2023, Sf, 吉野川

備考:本州から九州にかけて広域に分布する種であるが、徳島県からは記録がなかった(新海ら, 2022)。吉野川河川敷のリター層から採集された。

**58. *Zelotes tortuosus* Kamura, 1987 クロケムリゲモ (徳島県初記録)**

Figs. 6G, H

1F, 18-V-2023, Sf, 吉野川; 2M, 12-X-2023, Sf, 吉野川

備考:四国においては、香川県(馬場ら, 2017, 2018; 芹田, 2018a) および高知県(芹田, 2018b) から記録されている。

**Cheiracanthiidae コマチゲモ科**

**59. *Cheiracanthium lascivum* Karsch, 1879 ヤマトコマチゲモ**

1M, 3-V-2023, Lk, 吉野川; 1F1M, 1-VII-2023, Lk, 勝浦川

**Philodromidae エビゲモ科**

**60. *Tibellus fengi* Efimik, 1999 ヨシシャコゲモ (徳島県初記録)**

Figs. 7A, B, C

1M1y, 3-V-2023, Bt, 吉野川; 1F, 18-V-2023, Bt, 吉野川

備考:国内では本州~四国にかけて分布するが記録は多くない(新海ら, 2022)。四国においては高知県のみから記録されていた(芹田, 2019a, b)。海岸草原やヨシ原などに生息する。

**61. *Philodromus subaureolus* Bösenberg and Strand, 1906 アサヒエビゲモ**

1M, 14-VI-2023, Lk, コカロト

**Salticidae ハエトリゲモ科**

**62. *Bristowia heterospinosa* Reimoser, 1934 マツモトハエトリ (徳島県初記録)**

1M1y, 18-V-2023, Sf, 吉野川; 2F, 1-VII-2023, Sf, 勝浦川; 1F, 13-X-2023, Sf, 吉野川

備考:四国においては香川県および高知県から記録されている(馬場ら, 2017, 2018; 芹田, 2018b, 2019)。

**63. *Evarcha albaria* (L. Koch, 1878) マミジロハエトリ**

1M, 14-VI-2023, Lk, コカロト

**64. *Evarcha fasciata* Seo, 1992 マミクロハエトリ (徳島県初記録)**

Figs. 7D, E, F

1F, 14-VI-2023, Lk, コカロト; 1M, 1-VII-23, Bt, 勝浦川; 1F, 15-X-2023, Bt, 勝浦川

備考:本種は本州から九州にかけて広く分布する。四国においては愛媛県および高知県から記録されている(鶴崎ら, 2012; 池田, 2000; 貞元, 2004; 芹田, 2019b)。

**65. *Hakka himeshimensis* (Dönitz and Strand, 1906) イソハエトリ**

1M, 18-V-2023, Lk, 吉野川

**66. *Helicius chikunii* (Logunov and Marusik, 1999) チクニハエトリ (徳島県初記録)**

Fig. 7G

1M, 3-V-2023, Bt, 吉野川; 2M, 13-X-2023, Bt, 吉野川

備考:本州から九州にかけて広域に分布するが記録は多くない(新海ら, 2022)。四国においては香川県および高知県から記録されている(馬場・藤本, 2019; 馬場ら, 2018; 芹田, 2019b)。

**67. *Marpissa pulla* (Karsch, 1879) ヨダンハエトリ**

1F, 18-V-2023, Sf, 吉野川

**68. *Marpissa yawatai* Baba, 2013 クマドリハエトリ (四国初記録)**

Figs. 7H, I, J

1F, 3-V-2023, (幼体を採集, 成熟:8-V-2023), Bt, 吉野川; 1F2M, 18-V-2023, Bt, 吉野川; 2M1y, 13-X-2023, Bt, 勝浦川

備考:本種は千葉県および沖永良部島産の標本に基づき記載された種であり(Baba, 2013), 関東地方(茨城県・栃木県・埼玉県・千葉県・東京都)および南西諸島(奄美大島・徳之島・沖永良部島・久米島)から記録されている(新海ら, 2022)。

**69. *Mendoza canestrinii* (Ninni, 1868) オスクロハエトリ**

1M, 18-V-2023, Bt, 吉野川; 2F, 28-VI-2023, Bt, コカロト

**70. *Mendoza elongata* (Karsch, 1879) ヤハズハエトリ**

1M, 13-X-2023, Bt, 吉野川; 1M, 15-X-2023, Bt, 勝浦川

**71. *Plexippus setipes* Karsch, 1879 ミスジハエトリ**

1F, 3-V-2023, Bt, 吉野川; 2F2M, 18-V-2023, Bt, 吉野川; 2F, 1-VII-2023, Bt, 勝浦川; 9F3M1y, 13-X-2023, Bt, 吉野川; 1F4M, 15-X-2023, Bt, 勝浦川

徳島県の水辺環境におけるクモ相

Table 1. List of spiders collected from riparian habitats in four river systems of Tokushima Prefecture.

Family	Species	Japanese common name	River systems				
			Yoshino-gawa	Sonose-gawa	Katsura-gawa	Kaifu-gawa	
Oonopidae	<i>Opopaea syarakui</i>	シヤラクダニグモ			●		
Theridiidae	<i>Chrosiothes sudabides</i>	ヨツコブヒメグモ	●				
	<i>Coleosoma octomaculata</i>	ヤホシヒメグモ		●			
	<i>Coscinda japonica</i>	トガリクサチヒメグモ	●				
	<i>Keijiella oculiprominens</i>	キヨヒメグモ				●	
	<i>Paidiscura subpallens</i>	ハイイロヒメグモ			●		
	<i>Rhomphaea hyrcana</i>	タテスジヤリグモ	●		●		
	<i>Steatoda cingulata</i>	ハンゲツオスナキグモ	●			●	
	<i>Stemmops nipponicus</i>	スネグロオチバヒメグモ	●				
	<i>Yunohamella</i> sp.	ユノハマヒメグモ属の一種	●				
	Theridiosomatidae	<i>Theridiosoma fluvium</i>	アメイロカラカragモ				●
<i>Wendigarda ruficeps</i>		ムナアカナルコグモ				●	
Mysmenidae	<i>Microdipoena ogatai</i>	ヤマトコツブグモ				●	
Araneidae	<i>Argiope amoena</i>	コガネグモ		●	●		
	<i>Argiope bruennichi</i>	ナガコガネグモ		●	●		
	<i>Cyclosa octotuberculata</i>	ゴミグモ	●				
	<i>Hyposinga pygmaea</i>	ヨツボシシヨウジョウグモ				●	
	<i>Larinia argiopiformis</i>	コガネグモダマシ	●	●	●		
	<i>Larinia onoi</i>	ムネグロコガネグモダマシ	●		●		
	<i>Neoscona adianta</i>	ドヨウオニグモ		●	●	●	
	<i>Neoscona scyloides</i>	サツマノミダマシ				●	
	<i>Trichonephila clavata</i>	ジョロウグモ			●		
	Tetragnathidae	<i>Leucauge blanda</i>	チュウガタシロカネグモ				●
		<i>Leucauge celebesiana</i>	オオシロカネグモ				●
		<i>Leucauge subblanda</i>	コシロカネグモ				●
		<i>Tetragnatha keyserlingi</i>	ヤサガタアシナガグモ				●
<i>Tetragnatha nitens</i>		ヒカリアシナガグモ	●				
<i>Tetragnatha praedonia</i>		アシナガグモ		●			
Linyphiidae	<i>Diplocephaloides saganus</i>	ハラジロムナキグモ	●		●		
	<i>Nematogmus sanguinolentus</i>	チビアカサラグモ			●		
	<i>Ummeliata insecticeps</i>	セスジアカムネグモ				●	
Agelenidae	<i>Allagelena opulenta</i>	コカサグモ			●		
Dictynidae	<i>Dictyna felis</i>	ネコハグモ			●		
Ctenidae	<i>Anahita fauna</i>	シボグモ		●			
Oxyopidae	<i>Oxyopes macilentus</i>	シマササグモ				●	
	<i>Oxyopes sertatus</i>	ササグモ		●		●	
Pisauridae	<i>Dolomedes angustivirgatus</i>	スジボソハシリグモ				●	
	<i>Dolomedes saganus</i>	スジブトハシリグモ				●	
Lycosidae	<i>Hygrolycosa umidicola</i>	シツチコモリグモ				●	
	<i>Lycosa coelestis</i>	ハラクロコモリグモ	●	●	●		
	<i>Pardosa agraria</i>	イナダハリゲコモリグモ	●		●		
	<i>Pardosa astrigera</i>	ウツキコモリグモ	●	●	●		
	<i>Pardosa nojimai</i>	カコウコモリグモ	●		●		
	<i>Pardosa yaginumai</i>	キシバコモリグモ				●	
	<i>Pardosa isago</i>	イサゴコモリグモ		●			
	<i>Pirata subpiraticus</i>	キバラコモリグモ				●	
	<i>Trochosa aquatica</i>	ナガズキンコモリグモ	●		●		
	Thomisidae	<i>Xysticus hedini</i>	クロボシカニグモ				●
<i>Runcinia insecta</i>		シロスジグモ			●		
Clubionidae	<i>Clubiona diversa</i>	ミチノクフクログモ	●		●		
	<i>Clubiona kurilensis</i>	ヒメフクログモ	●				
	<i>Clubiona corrugata</i>	コフクログモ		●	●	●	
	<i>Clubiona japonicola</i>	ハマキフクログモ			●		
Trachelidae	<i>Orthobula crucifera</i>	オトヒメグモ	●		●		
Gnaphosidae	<i>Drassyllus yaginumai</i>	ヒメヨリメケムリグモ	●				
	<i>Haplodrassus kanenoi</i>	カズサハイタカグモ	●	Kamura (2006)			
	<i>Odontodrassus hondoensis</i>	ヤマトフトバワシグモ	●				
	<i>Zelotes tortuosus</i>	クロケムリグモ	●				
	<i>Cheiracanthium lascivum</i>	ヤマトコマチグモ	●		●		
Philodromidae	<i>Tibellus fengi</i>	ヨシシャコグモ	●				
	<i>Philodromus subaureolus</i>	アサヒエビグモ				●	
Salticidae	<i>Bristowia heterospinosa</i>	マツモトハエトリ	●		●		
	<i>Evarcha albaria</i>	マミジロハエトリ				●	
	<i>Evarcha fasciata</i>	マミクロハエトリ			●	●	
	<i>Hakka himeshimensis</i>	イソハエトリ	●				
	<i>Heliciscus chikunii</i>	チクニハエトリ	●				
	<i>Marpissa pulla</i>	ヨダンハエトリ	●				
	<i>Marpissa yawatai</i>	クマドリハエトリ	●		●		
	<i>Mendoza canestrinii</i>	オスクロハエトリ	●			●	
	<i>Mendoza elongata</i>	ヤハズハエトリ	●		●		
	<i>Plexippus setipes</i>	ミスジハエトリ	●		●		
	<i>Myrmarachne formicaria</i>	タイリクアリグモ	●				
	<i>Sibianor pullus</i>	キレワハエトリ	●				
	<i>Phintella linea</i>	メガネアサヒハエトリ	●		●		

Table 2. Red List Categories in the Red List / Red Data Book of Tokushima Prefecture and other prefectures for four notable spider species collected in this survey. Abbreviations: VU, vulnerable; CR, critically endangered; EN, endangered; NT, near threatened; DD, data deficient.

Species	Japanese common name	Category in Tokushima RL/RDB	Category in RL/RDB of other prefectures
<i>Hygrolycosa umidicola</i>	シッチコモリグモ	—	千葉県：要保護生物, 愛知県：絶滅危惧 IIB 類(VU), 兵庫県：A ランク(CR)
<i>Larinia onoi</i> <i>Oxyopes macilentus</i>	ムネグロコガネグモダマシ シマササグモ	— 留意種 (DD)	兵庫県：要調査種(DD) 三重県：準絶滅危惧(NT)
<i>Pardosa nojimai</i>	カコウコモリグモ	—	愛知県：絶滅危惧 IA 類(CR), 兵庫県：A ランク(CR) 佐賀県：絶滅危惧 I 類(CR, EN), 大阪府・岡山県：準絶滅危惧(NT)
<i>Steatoda cingulata</i>	ハンゲツオスナキグモ	留意種 (DD)	—

備考：吉野川および勝浦川河口域の草地において特に個体数が多い種。

**72. *Myrmarachne formicaria* (De Geer, 1778) タイリクアリグモ**

1M, 13-X-2023, Lk, 吉野川

**73. *Sibianor pullus* (Bösenberg and Strand, 1906) キレワハエトリ**

4M2y, 18-V-2023, Lk, 吉野川

**74. *Phintella linea* (Karsch, 1879) メガネアサヒハエトリ**

1M, 18-V-2023, Lk, 吉野川; 1F, 1-VII-2023, Lk, 勝浦川;  
2F, 13-X-2023, Lk, 吉野川

**考察**

本予備調査によって、徳島県内の水辺環境のうち、主に河川河口域のヨシ原や草地、湿地におけるクモ相の概要が明らかになった。以降では、県版 RL/RDB 選定種、吉野川・勝浦川の河口域における特徴的な種、海部川流域の湿地における特徴的な種の各々について、その生態的特徴や生息状況、他都道府県の RL/RDB における選定状況などを整理しつつ、徳島県の水辺環境におけるクモ相の特徴を概観する。

**県版 RL/RDB 選定種について**

本調査で確認された県版 RL 選定種 2 種（ハンゲツオスナキグモ、シマササグモ）のカテゴリはいずれも留意 (DD) である（徳島県, 2001, 2013）(Table 2)。県版 RL におけるカテゴリの定義によれば、留意 (DD) とは、生息・生育状況の変化によって上位のカテゴリに移行しうる属性を有しているが、ランクを判定するに足る情報が得られていないもので、以下のいずれかに該当するものを指す：1. どの生息・生育地においても生息・生育密度が低く希少である；2. 生息・生育地が限定されている；3. 生物地理上、特徴的な分布特性を有する（固有種、分布限界種など）；4. 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている；5. 在来／外来が不明（徳島県, 2013）。

ハンゲツオスナキグモ (Fig. 3D, E) は石下や草本の根際、石垣の隙間や崖の割れ目などに不規則網を張る造網性種である（中平, 1961；小野・緒方, 2018）。県版 RDB（徳島県, 2001）では、採集記録の少なさ（カテゴリ定義の 1. および 2. に相当）が選定理由として挙げられている。しかしながら、本種は南～東アジアに広く分布し、国内においても北海道から沖縄にかけて記録されている種である（World Spider Catalog, 2023；新海ら, 2022）。加えて、河川敷や草地、民家の周辺や公園、山地の林縁など、開けた環境に広く生息するとされており、少なくとも留意 (DD) の定義 3. および 4. には該当しないと考えるのが妥当だろう。記録の少なさの要因としては、網が地表付近に張られており目立ちにくいことや、クモ自身が管状住居の奥に

隠れる習性をもつこと、などが考えられる。なお、本種は茨城県版 RDB (茨城県, 2000) において「県内に局所的に分布し、個体数も極めて少ない」という理由から希少種に選定されていたが、2016 年に改訂された茨城県版 RL (茨城県, 2016) ではリストから除外されているため、本種を RL/RDB に掲載している種は徳島県のみとなっている。

シマササグモ (Fig. 5A) は南方系の分布を示す種であり、国内における分布東限は三重県とされている (新海ら, 2022; 三重県, 2015)。また、県内における本種の記録は全て海陽町で採集されたものであり (平松, 2006; 坂東, 2021)、本調査でも海陽町以北の地域では確認されなかった。本種の分布特性を考慮すると、県版 RL における留意 (DD) の選定カテゴリ 2. または 3. を満たす可能性が高いと考えられる。他都道府県の RL, RDB における選定状況は次の通り。三重県: 純絶滅危惧 (NT) (三重県, 2015) (Table 2)。選定の理由として、記録個体数が少なく、分布北限にあたることを挙げている (三重県, 2015)。

県版 RL における両種の選定の妥当性を再検討するために、今後さらに詳細な分布情報を収集していきたい。

#### 吉野川・勝浦川河口域のヨシ原および草地におけるクモ相の特徴

吉野川・勝浦川河口域には、湿潤なヨシ原からやや乾燥した草原への移行帯が広がっている。これらの環境におけるクモ相を特徴づける種としては、カコウコモリグモ、ムネグロコガネグモダマシ、ヨシシャコグモ、クマドリハエトリが挙げられる。

カコウコモリグモ (Figs. 5E–G) は海岸や河口付近のヨシ原に特異的に生息する種であり、河川中流域や内陸の湖沼などの淡水性環境にはみられないため、塩性環境に強く依存していると考えられる (小野・緒方, 2018; 愛知県, 2020)。本調査では、泥上に堆積したヨシの枯死体の上を走り回る個体が多数確認された (Figs. 2A, C)。また、ヨシ原の泥上から岸川に数 m 離れた程度で、ウヅキコモリグモなどの比較的乾燥した環境を好む種に置換することも確認された。生息地における個体数は少なくないものの、護岸工事や塩性ヨシ原の埋め立て、環境悪化等によって個体数が著しく減少する可能性は否めない。ただし、吉野川の汽水域は河口から約 14.5 km の範囲に及んでおり、その範囲には複数の塩性ヨシ原が発達することから (和田, 2013)、本種はこれらの領域に広く分布している可能性が高いだろう。現状では、本種は県版 RL における留意種の定義 2. および 4. を満たすと考えられる (徳島県, 2013)。なお、他都道府県の RL, RDB における選定状況は次の通り。愛知県: 絶滅危惧 II 類 (VU)、大阪府: 準

絶滅危惧 (NT); 兵庫県: A ランク (環境省 RL 絶滅危惧 IA 類に相当)、岡山県: 準絶滅危惧 (NT)、佐賀県: 絶滅危惧 I 類 (Table 2)。選定の理由として、生息域が限られることや河川敷工事、河道掘削が個体群に与える影響等が挙げられている (愛知県, 2020; 兵庫県, 2017)。

ムネグロコガネグモダマシ (Figs. 4G, H) は平地の草原や河川周辺の草地などを好む種であり (小野・緒方, 2018)、吉野川・勝浦川河口域ではヨシ原よりも岸側に発達した草原 (Fig. 2B) に多産していた。同所には同属のコガネグモダマシも生息するが、コガネグモダマシが草本の間に垂直円網を張るのに対し、本種は草本の株元の低い位置に水平または斜めに円網を張ることから、草本上部のスウィーピングでは採集することが困難である。他都道府県の RL, RDB における選定状況は次の通り。兵庫県: 要調査種 (環境省 RL 情報不足 DD に相当) (Table 2)。選定の理由として分布に関する情報の少なさを挙げている (兵庫県, 2017)。

ヨシシャコグモはヨシ原をはじめとするイネ科草本群落を代表するクモである。吉野川の生息地では本種の個体数は多く、イネ科草本をかき分けることで多数の個体を発見することができた。なお、本種は河口や海岸にのみ生息するとは限らず、内陸からも発見されている (馬場, 2021)。

クマドリハエトリ (Figs. 7H–J) はヨシ原などの湿地に生息する種であり、枯れたヨシの葉の上などを歩き回る (須黒, 2017)。また、南西諸島ではススキ原に生息することが分かっている (須黒, 2017)。吉野川ではヨシ原およびススキ原の両方で確認された。本種の既知の分布域は関東地方と奄美～沖縄諸島であり (新海ら, 2022) その間は空白地帯となっていたことから、吉野川における記録は本種の地理的分布を明らかにするうえで重要であるといえる。

#### 海部川流域の湿地におけるクモ相の特徴

海部川流域には、抽水植物が繁茂した湿地が点在している。これらの環境におけるクモ相を特徴づける種としては、アメイロカラカラグモ、ムナアカナルコグモ、スジボソハシリグモ、スジフトハシリグモ、シッチコモリグモなどが挙げられる。

カラカラグモ科のアメイロカラカラグモ (Figs. 4A, B) とムナアカナルコグモ (Figs. 4C, D) は、いずれも体長が 1.0 から 1.5mm 程度の微小種である。アメイロカラカラグモは湿地や河川敷の湿った草原などに生息する (Suzuki et al., 2020; 熊田, 2021; 長野, 2022; 野島, 2020)。本種はイネ科草本の根際などに生息することから、スウィーピングやビーティングによる採集は困難であり、草本をかき分けながら目視によって採集する方法が最も効率的であ

る。また、ムナアカナルコグモ (Figs. 4C, D) は 2019 年に記載された種であり、淡水の止水域に生息する。本種は抽水植物が繁茂した環境に多く、水面付近に糸を張って静止していることが多いため、アメイロカラカラグモと同様にスウィーピングやシフティングによる採集は困難である (鈴木・松島, 2021)。

スジボソハシリグモ (Fig. 5B) およびスジブトハシリグモは湖沼やため池などの止水環境を代表する種である (小野・緒方, 2018)。これら 2 種はしばしば同所的にみられるが、本生息地ではスジボソハシリグモの個体数が多かった。いずれの種も水面に浮かぶようにして生活しており、水面に落下した昆虫や水生生物等を餌にしている。

シッチコモリグモ (Figs. 5C, D) は水位の浅い湿潤地や河川周辺の湿った草地、ヨシ原などの湿地環境に生息する種である (小野・緒方, 2018)。本調査では海部川沿いの湿地においてのみ確認された。同生息地にはキバラコモリグモが優占しており、本種の個体数は多くなかった。現状としては、県版 RL における留意種 (DD) の定義 2. および 4. を満たすと考えられる (徳島県, 2013)。他都道府県の RL/RDB における選定状況は次の通り。千葉県：C 要保護生物、愛知県：絶滅危惧 IB 類 (EN)、兵庫県：A ランク (環境省 RL 絶滅危惧 IA 類に相当) (Table 2)。選定の根拠として生息域が限られることや河川敷工事、河道掘削が個体群に与える影響等を挙げている (愛知県, 2020；兵庫県, 2017)。

### 今後の展望

本調査では、塩性ヨシ原の泥上に生息するカコウコモリグモや、抽水植物に覆われた湿地にみられるシッチコモリグモなど、特定の湿地・草地環境を好む種が複数確認された。これらの種は人為的な環境変化による絶滅の危険性が懸念され、実際に多くの都道府県の RL/RDB において絶滅危惧種として選定されていることから (Table 2)、生息状況の解明は急務である。また、吉野川河口域のヨシ原においては、大型台風により漂着する大量のゴミが問題となっており、シオマネキ等の生物への影響が懸念されている (和田, 2013)。これらの漂着物がヨシ原のクモ個体群に与える影響についても、今後注視する必要があるだろう。加えて、本調査によって多数の県未記録種が確認されたことは、県内における湿地性クモ相の調査が依然として不足していることを示している。今後は、本調査の対象地域に含まなかった那賀川流域や、県西部の湿地環境についても調査対象に含め、県内における水辺環境のクモ相を網羅的に解明していきたい。

### 謝辞

文献をご提供いただいた坂東治男氏 (阿波学会) ならびに林 成多氏 (ホシザキグリーン財団)、調査に同行していただいた佐藤陽一学芸員 (徳島県立博物館)・佐藤南海氏、調査地の植生について情報を提供していただいた茨木 靖学芸員 (徳島県立博物館) に感謝申し上げます。

### 引用文献

- 愛知県. 2020. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物. レッドデータブックあいち 2020 一動物編一. 769 p. 愛知県環境局環境政策部自然環境課, 名古屋.
- Baba, Y. G. 2013. Two new species of jumping spiders (Araneae: Salticidae) from Japan. *Acta Arachnologica*, 62: 103–107.
- 馬場友希・藤本博文. 2019. 香川県のクモ (第三報). *香川生物*, 46: 43–48.
- 馬場友希・藤本博文・滝 朋子・出嶋利明. 2018. 香川県のクモ (第二報). *香川生物*, 45: 9–27.
- 馬場友希. 2021. 長野県上田市の椀子ヴィンヤードで採集されたクモ. *Kishidaia*, 118: 212–220.
- 坂東治男. 2008. 美馬市木屋平地区のクモ類. *阿波学会紀要*, 54: 91–95.
- 坂東治男. 2010a. 阿波市「阿波町・吉野町」のクモ類. *阿波学会紀要*, 56: 73–82.
- 坂東治男. 2010b. 三好市東祖谷で確認されたクモ類. *四国大学紀要*, 31: 67–80.
- 坂東治男. 2011a. つるぎ町一字で確認されたクモ類. *阿波学会紀要*, 57: 73–83.
- 坂東治男. 2011b. 徳島県のホラヒメグモ. *四国大学紀要自然科学編*, 33: 21–31.
- 坂東治男. 2012. 吉野川市山川町で確認されたクモ類. *阿波学会紀要*, 58: 69–79.
- 坂東治男. 2013. 「東三加茂町」で確認されたクモ類. *阿波学会紀要*, 59: 61–71.
- 坂東治男. 2015. 阿南市で確認されたクモ類. *阿波学会紀要*, 60: 67–78.
- 坂東治男. 2017. 鳴門市で確認されたクモ類. *阿波学会紀要*, 61: 61–70.
- 坂東治男. 2019. 三好市西祖谷山地域で確認されたクモ類. *阿波学会紀要*, 62: 45–55.
- 坂東治男. 2021. 海陽町で確認されたクモ類. *阿波学会紀要*, 63: 1–13.
- 千葉県. 2019. 千葉県レッドリスト動物編 (2019 年改訂版).

- <https://www.bdcchiba.jp/wp-content/uploads/2022/03/redlist2019.pdf>
- 林 成多・野嶋宏一・片岡大輔. 2014. 島根県出雲市園町宍道湖グリーンパークにおけるクモ類生息調査 (2012年). ホシザキグリーン財団研究報告, 17: 1-13.
- 平松毅久. 2006. 徳島県南部で採集したクモ. *Kishidaia*, 89: 73-77.
- 平松毅久. 2021. シロオビカラカラグモ *Zoma dibaiyin* - 生活史覚え書き-. *Kishidaia*, 118: 14-23.
- 兵庫県. 2017. 兵庫県版レッドリスト 2017 (哺乳類・爬虫類・両生類・魚類・クモ類). [https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/environment/leg\\_240/leg\\_289/leg\\_6089](https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/environment/leg_240/leg_289/leg_6089)
- 茨城県. 2000. 茨城における絶滅のおそれのある野生生物〈動物編〉茨城県版レッドデータブック. 195 p. 茨城県生活環境部環境政策課, 水戸.
- 茨城県. 2016. 茨城県版レッドリスト (動物編). Online at = [https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/shizen/tayousei/redbook/documents/ibaraki\\_rl\\_2016\\_4web-e.xlsx](https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/shizen/tayousei/redbook/documents/ibaraki_rl_2016_4web-e.xlsx) (2023年11月14日閲覧)
- 池田博明. 2000. 1993年9月の高知のクモ. *Kishidaia*, 78: 44-45.
- 入江照雄. 2016. ヒゴユウレイグモの生息環境と分布. *Kishidaia*, 108: 23-28.
- 貝發憲治. 2023. シツチコモリグモを見つけに行きませんか. *しのびぐも*, 50: 10-11.
- Kamura, T. 1995. A new species and a newly recorded species of the genus *Haplodrassus* (Araneae: Gnaphosidae) from Japan. *Acta Arachnologica*, 44: 123-127.
- Kamura, T. 2007. Spiders of the genus *Haplodrassus* (Araneae: Gnaphosidae) from Japan. *Acta Arachnologica*, 55: 95-103.
- 木内盛郷・吉田正隆. 1970. 徳島県の洞窟動物相. 徳島県博物館紀要, 1: 41-63.
- 木内盛郷・吉田正隆. 1971. 剣山周辺の鍾乳洞とその動物相. 270 p. 剣山県民の森総合学術調査報告書, 徳島県.
- 熊田憲一. 2021. 三重県で最近確認採集されたクモ4種. *しのびぐも*, 48: 1.
- 真鍋佳資・坂東治男. 1974. 徳島の蜘蛛 (I). 徳島昆虫, 2: 6-15.
- 真鍋佳資・坂東治男. 1975. 徳島の蜘蛛 (II). 徳島昆虫, 3: 8-10.
- 真鍋佳資・坂東治男. 1979. 徳島の蜘蛛 (III). 徳島昆虫, 5: 12-16.
- 三重県. 2015. 三重県レッドデータブック 2015 ~ 三重県の絶滅のおそれのある野生生物 ~. 757 p. 三重県農林水産部みどり共生推進課, 津市.
- 長野宏紀. 2022. 堺自然ふれあいの森から採取した大阪府および堺市初記録のクモ. *Kishidaia*, 120: 155-162.
- 中平 清. 1961. 高知県のクモ. *Atypus*, 23-24: 27-60.
- 中平 清. 1994. 私と生きものたち. 259 p. 著者自刊.
- 中條竜太. 2006. 文献による徳島県産クモ類目録. *Kishidaia*, 89: 81-102.
- 中條竜太. 2008. 徳島県海部郡牟岐町出羽島のクモ. *Kishidaia*, 93: 61-62.
- 中條竜太・中西亜耶. 2009. 徳島県海部郡牟岐町出羽島のクモ II. *Kishidaia*, 96: 96.
- 中西亜耶・中條竜太. 2008a. 徳島県伊島のクモ II. *Kishidaia*, 93: 68-71.
- 中西亜耶・中條竜太. 2008b. 徳島県伊島のクモ III. *Kishidaia*, 96: 108-110.
- Nishikawa, Y. 2009. A new genus and 44 new species of the family Coelotidae (Arachnida, Araneae) from Japan. In: 小野展嗣 (編著). 2009. 日本産クモ類. p. 51-70. 東海大学出版会, 神奈川.
- 野嶋宏一. 2020. 岡山県で確認されたクモ. *Kishidaia*, 120: 168-171.
- 岡山県. 2020. 岡山県版レッドデータブック 2020. 812 p. 岡山県環境文化部自然環境課, 岡山市.
- 小野展嗣 (編著). 2009. 日本産クモ類. 738 p. 東海大学出版会, 神奈川.
- 小野展嗣・緒方清人. 2018. 日本産クモ類生態図鑑. 自然史と多様性. 713 p. 東海大学出版会, 神奈川.
- 大阪府. 2014. 大阪府レッドリスト 2014. 7. クモ類. <https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/21490/00148206/7.kumorui.pdf>
- 貞元己良. 2004. 高知合宿のその後. *Kishidaia*, 86: 59-67.
- 佐賀県. 2023. 佐賀県レッドリスト 2023 (昆虫・クモ類編). [https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314125/3\\_14125\\_289393\\_up\\_6i3chy5d.pdf](https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314125/3_14125_289393_up_6i3chy5d.pdf)
- 清水克洋・清水正仁・坂東治男・山田量崇. 2011. 徳島県那賀町で採集されたカトウツケオグモ. 徳島県立博物館研究報告, 21: 27-29.
- 新海明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生. 2022. CD 日本のクモ ver. 2022. 著者自刊 CD.
- 新海明・谷川明男. 2007. 採集情報. *遊絲*, 20: 9-11.
- 新海明・谷川明男. 2009a. 採集情報. *遊絲*, 24: 7-8.
- 新海明・谷川明男. 2009b. 採集情報. *遊絲*, 25: 16-18.
- 新海明・谷川明男. 2013. 採集情報. *遊絲*, 32: 7.
- 新海明・谷川明男. 2016. 採集情報. *遊絲*, 39: 7-10.

- 鈴木佑弥・松島良介. 2021. このクモをさがせ No.08 ムナアカナルコグモ. *Kishidaia*, 118 : 33–37.
- Suzuki, Y., R. Serita and T. Hiramatsu. 2020. Japanese spiders of the genus *Theridiosoma* (Araneae: Theridiosomatidae) with the description of four new species. *Acta Arachnologica*, 69: 133–150.
- 芹田凌平. 2018a. 香川県で採集したクモ. *Kishidaia*, 112 : 15–16.
- 芹田凌平. 2018b. 高知県で採集したクモ. *Kishidaia*, 112 : 30–39.
- 芹田凌平. 2019a. ヨシシャコグモを砂浜で採集. *Kishidaia*, 115 : 101–102.
- 芹田凌平. 2019b. 高知県で採集したクモ II. *Kishidaia*, 115 : 143–156.
- 芹田凌平. 2021. 高知県で採集したクモ III. *Kishidaia*, 118 : 266–287.
- 芹田凌平. 2023. 徳島県で採集したクモ. *Kishidaia*, 123 : 27–29.
- 谷川明男. 2023. 日本産クモ類目録 ver. 2023R1. Online at=<https://www.asahi-net.or.jp/~DP7A-TNKW/japan.pdf> (2023年10月24日閲覧).
- Tanikawa, A. and T. Miyashita. 2008. A revision of Japanese spiders of the genus *Dolomedes* (Araneae : Pisauridae) with its phylogeny based on mt-DNA. *Acta Arachnologica*, 57: 19–35.
- 徳島県. 2001. 徳島県の絶滅の恐れのある野生生物—徳島県版レッドデータブック—. 438 p. 徳島県環境生活部環境政策課, 徳島市.
- 徳島県. 2013. の他の無脊椎動物リスト<改訂：平成25年>. Online at=<https://www.pref.tokushima.lg.jp/file/attachment/463493.pdf> 2023/11/9 閲覧.
- 和田太一. 2013. 徳島県吉野川の干潟で記録された底生生物相と河口域の生物多様性の保全. 徳島県立博物館研究報告, 23 : 87–111.
- World Spider Catalog. 2023. World Spider Catalog. Version 24.5. Natural History Museum Bern, online at <http://wsc.nmbe.ch>, accessed on 2023/11/28. doi: 10.24436/2